

たま川兄弟 減右衛門と量右衛門のこれやってる？
 <カラスや動物の被害から防ぐ方法！の巻>

減右衛門



量右衛門



大変だ！こみが散らかっている！



あ。また、カラスがいたずらしているわ！どうしたらいいの？

ただ…ネットやバケツは自分で用意してもらおうかなんですが…



では、ネットをかけたリ、バケツに入れたりするのが効果的ですよ。

散らかったままと近所に迷惑を掛けてしまうし、私もなんとかしなくちゃ！



うん。そっか、自分で買うのね。

それは、ちょっと怖いかも…



カラスがいたずらしないように見張っているから、大丈夫！

平成30年度市民提案型協働事業を募集します

「市民提案型協働事業」とは、市民活動団体の皆さんから提案された地域課題などに対し、市民活動団体と市が協働して事業に取り組むことにより、課題の解決につなげ、より暮らしやすい「まちづくり」を目指す事業です。皆さんの提案をお待ちしています。

募集する事業 市民活動団体が主体となり市と協働して事業を実施することで、地域課題などの解決につながることでできる事業

■羽村市内で市民活動を行っている

■協働事業を実施するために必要な数の会員が在籍している

■組織などの運営に関する規約などがある

■会計処理が適正に行われている

■営利・宗教・政治・選挙活動を目的としていない

■暴力団・暴力団関係者に該当する者が所属していない

※協働事業は団体の自立性を考え、単年度とし、同じ事業を提案する団体は3か年を限度とする。

助成金 協働事業の実施にあたり予算の範囲内で助成します。

申込み 2月1日(木)～3月2日(金)に、必要書類を市役所2階地域振興課市民活動センター係へ(土・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時)

※必ず事前に相談してください。

事前説明会

事業の内容や申請方法などについて説明します。

日時 1月24日(水)午後7時～

会場 コミュニティセンター2階第一研修室

※直接会場へお越しください。

問合せ 地域振興課市民活動センター係 ☎ 631

放射線量の測定結果

▼定点(富士見公園)の放射線量測定結果
 単位: $\mu\text{sv/h}$ (マイクロシーベルト/時間)

測定日	天候	測定高さ(地上から)		
		5 cm	50 cm	1 m
12月13日(水)	晴れ	0.062	0.055	0.060

国際放射線防護委員会の2007年勧告によると、一般の人(子ども含む)が1年間に浴びる放射線量の限度は、1,000マイクロシーベルトとされています。時間あたりに換算すると0.23マイクロシーベルト/時間となり、それ以下であれば、健康に影響を及ぼすレベルではないと言われています。※測定方法・時間など詳しくは、問い合わせてください。

問合せ 環境保全課環境保全係 ☎ 226

羽村市水道水の放射性物質測定結果

採水日時	検査項目(単位:ベクレル/kg)	
	放射性セシウム134	放射性セシウム137
12月11日(月) 午前11時30分	不検出 検出限界値(0.1)	不検出 検出限界値(0.2)
目標値(※1)	10	

※1…国が定めた目標値(放射性セシウム134と放射性セシウム137の合計値)
 ※不検出とは、()内の検出限界値以下であることを表します。
 ※検出限界値は、検査機関の周辺環境や測定器の性能、検査物質によって異なります。
 ※測定方法など詳しくは、問い合わせてください。

問合せ 水道事務所 ☎ 554-2269

「青少年育成」 東京都から功労が認められました

東京都青少年健全育成功労者

□ 浦野雅文さん（青少年対策西地区委員会会長）

□ 深川博利さん（青少年対策武蔵野地区委員会会長）

長年にわたり、青少年対策地区委員会活動を通じ、地域の子どもの健全育成活動に貢献されています。

東京都青少年育成協力者等

□ 羽村市青少年対策地区委員会連絡協議会

毎年11月に青少年健全育成の日事業として、ゆとりぎで行っている子どもフェスティバルが「11」の東京革命推進モデル」

“社会を明るくする運動”

“社会を明るくする運動”東京都推進委員会から、次の方と学校が表彰されました。

佳作

□ 西愛菜さん（栄小学校6年生）
／ 作文名「やさしさと笑顔のつながり」

奨励賞

□ 羽村東小学校、羽村西小学校、

に指定されました。事業を通じて地域の子どもの健全育成に貢献する姿勢が高く評価され、感謝状が贈呈されました。

問合せ 児童青少年課児童青少年係 係内 263



▶ 左から連絡協議会石川会長、西地区浦野会長、武蔵野地区深川会長

作文コンテスト表彰

栄小学校、武蔵野小学校（50点以上の応募）

問合せ 社会福祉課法人・施設指導係内 477



男女共同参画に関するミニコラム Vol.4 ～生涯現役！仕事に、プライベートに、人生を楽しもう！～

平成29年の我が国のGGI（*）は、144か国中114位であり、この3年間で下降しています。また、平成28年度の日本人女性の短大・大学への進学率は57.1%ですが、就業者は43.5%であり、その内の管理的職業従事者は、13.0%と低く、女性の総活躍から程遠い現実にあります。

人は成長する過程において将来の夢や希望を持ち、さまざまな環境の中から職業を選択しています。しかし、5割の女性が結婚を機に家庭に入り主婦・母親としての役割を選択しています。未だ「男は外で女は内」という日本独特の考えから脱却できていません。内閣府調査（平成28年度）でも「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に男性44.7%、女性37%が賛成という結果となっています。

女性が自身の努力で得た職業を結婚・子育てをしながらも続けていきたいと考え、実行する行動力を持ち、そして男性も共に支え、人生を謳歌できるよう、まずは、家庭・子育て・仕事両立できる意識を持つことが大事だと考えます。

現在は、女性の職業選択にほぼ制限はありませんし、働き続ける環境が整ってきていると思いますが、心の満足はどうでしょうか。これからは地域活動にも女性の活躍がなくてはならないと考えます。

地域活動に参加する、役割を担う、見守る、楽しむ、会話する、尊重するなど、プライベートの時間を楽しみながら、自身の活動を社会に還元することが男女共同参画社会の実現に向けた変化を少しずつ育んでいくと信じています。

私が子どものころ「男はいいな！どんな職業にも就けるし、ずーっと働けて！」と言った際に、戦後満州からの引き上げと体を壊して戦争から帰国後10年余りで夫と死別、生活にも子育てにも苦勞をしてきた母は「女はいかなる時のことも考えて一生働けるよう手に職を付けなさい」と言いました。

ずっと働き続け、子育てを終わらせ、地域社会で子育て支援をしながら人生現役のまま、できるところまで頑張ることに、現在、実践奮闘中の私です。

（*）GGI…ジェンダー・ギャップ指数、各国内の男女間の格差を数値化しランク付けしたもの

執筆者 松尾紀子さん（第9期羽村市男女共同参画推進会議副会長、㈱みらい代表取締役）



問合せ 企画政策課企画政策担当 係内 345